



# 年末年始の防犯対策

## 安全安心のまちづくりは地域から

年末・年始を迎えると何かと慌たしくなり、犯罪が多発する傾向にあります。思わぬ被害に巻き込まれないように、一人一人が暮らしの中で注意を怠らないことが大切です。今回は犯罪の傾向と対策を紹介します。

また、地域全体で防犯対策に取り組み、「安全安心なまち」を目指しましょう。

### ✓ 子どもを犯罪から守ろう

子どもを狙った犯罪は、いつどこで起こるか予想が付きません。12月末には冬休みを迎えますので、子どもを犯罪から守るため、日々の生活の中で防犯指導が必要です。

また地域でも、子どもたちが安心して過ごせるように、地域ぐるみで見守ることも大切です。

- 一人で遊ばない。
- 外出時は、誰と、どこで、何をするか、何時頃帰宅するかを確認する。
- 外出時は防犯ブザーを持たせる。
- 地域とのつながりを持ち、お互いの変化に気が付く環境にする。

### ✓ ひったくり対策

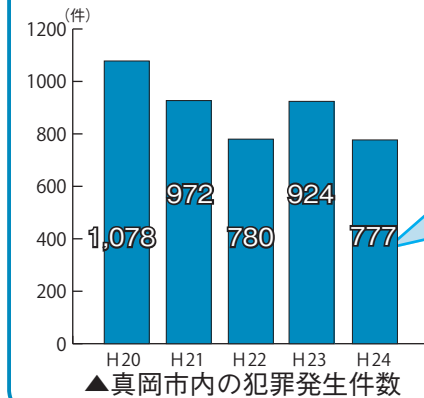
特に女性や高齢者が狙われやすい犯罪で、金品を奪われるだけでなく、被害に遭った際に転倒し、大けがを負ってしまうケースもあります。自分には被害に遭わないだろうと思わず、日頃から注意を怠らないことが大切です。



- バッグをたすき掛けにする。
- バッグや荷物は車道側に持たない。
- 自転車のカゴには、ひったくり防止ネットを付ける。
- 背後でのバイク音など、周囲の音に反応する。

### 犯罪は1日に2件のペースで発生しています

市内の犯罪発生件数は、年々下降傾向にありますが、平成24年は、1日に約2件のペースで発生しています。特に、自動車や自転車等の乗物盗が高い割合を占めています。



種別	件数
凶悪犯（殺人、強盗、放火等）	2
粗暴犯（暴行、傷害、脅迫等）	58
窃盗犯（空き巣、乗物盗等）	596
知能犯（詐欺、横領、偽造等）	14
風俗犯（賭博、わいせつ等）	9
その他（上記以外の刑法犯）	98

▲平成24年犯罪種別発生件数

窃盗犯のうち多い事件	
乗物盗	109
車上狙い	85
空き巣	49

## 市の防犯対策

### 青色防犯パトロール事業

市では、地域における犯罪防止と犯罪発生時の被害の拡大防止に努めるため、青色回転灯搭載車による夜間防犯パトロールを実施しています。パトロールは、公園などの公共施設を重点的に巡回し、パトロール中に不審者、不審物、不審車両等を発見したときは、速やかに警察署へ通報します。



▲青色回転灯搭載車

### 不審者情報の提供

警察からの情報公開に基づき、市ホームページへ発生場所や時間等を掲載しています。

### 消費者生活センター

消費生活センターでは、消費者が商品購入やサービスの提供などにおいて事業者とのトラブルに遭った場合に、消費者が自ら解決するために助言や情報提供を行っています。相談内容によっては、より適切な専門相談機関や法律相談窓口などを紹介しています。

## 地域における防犯対策「みんなでなくそう年末年始の事件事故」

真岡警察署では、12月11日から1月3日までの24日間「みんなでなくそう年末年始の事件事故」をスローガンとして掲げ、年末年始の特別警戒を実施します。市では、期間中に真岡警察署、自治会、地元消防団と連携し、市街地周辺の夜間防犯・防火パトロールを実施します。

安全・安心なまちづくりを目指すには、地域全体で防犯意識を持つことが大切です。各自治会においても、この機会に地域の防犯診断等を行ってみてはいかがでしょうか。

【問い合わせ】安全安心課生活安全係 ☎ 83-8394 FAX83-8392

### ✓ 空き巣対策

窃盗犯の多くは、侵入に5分以上時間がかかると犯行をあきらめると言われています。二重に鍵を掛けるなど、侵入に時間がかかる対策をしましょう。また、庭先の掃除やごみ出しなどのわずかな時間の外出でも、油断は禁物です。

- 窓ガラスを防犯ガラス・防犯フィルムに加工する。
- 補助鍵を取り付ける。
- 少しでも家を空けるときは、鍵を掛ける習慣をつける。



### ✓ 車上狙い・車両盗難対策

犯罪の中でも、上位を占めているのが自動車盗・車上狙いです。高級車やハイブリッド車などの普通車が被害に遭っていますが、最近ではトラックや建設用の重機などの被害も多くなっています。



- 車両には必ず鍵をかけ、見通しの良い明るい場所に駐車しましょう。
- 車内にバッグ類は置かない。
- 駐車場にセンサーライトなどを取り付ける。

### ✓ 振り込め詐欺等対策

県内では被害件数、被害額が増加しています。苦勞せずお金が手に入るもうけ話や、おいしい話には落とし穴があります。また、息子や孫を装い「交通事故を起こしてしまった」、「女性を妊娠させてしまった」、「お金を使い込んでしまった」などと、電話で家族を信じ込ませお金を要求するものや、金融機関や公共機関の職員と名乗り、お金の請求や手続きを求めものなど、さまざまな手口でだまそうとします。



- まずは慌てず、焦らず、冷静に対応しましょう。
- 相手が名乗った家族や金融機関に連絡し、事実を確認しましょう。
- 「もしかして詐欺かな」と思ったら真岡警察署や消費生活センターに相談してください。

【問い合わせ】真岡警察署 ☎ 84-0110 消費生活センター ☎ 84-7830